

## Sturm

シュトゥルム

## 実りの秋！夏の収穫は？

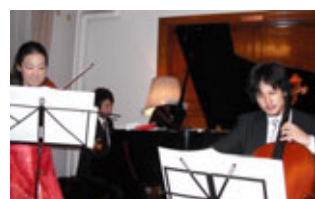
吹く風も涼しく、いよいよ芸術の秋。クラシック音楽に耳を傾け、目を閉じれば  
浮かぶのは楽しい夏の思い出でしょうか？ Sturm 秋号、しっとりとお届けします。



ワインの産地バツハウ渓谷  
ドナウ川下りで伊都さん撮影



バツハウ渓谷の宝石  
メルク修道院 伊都さん撮影



## 伊都さん近況報告

今年のウィーンの9月は例年より比較的暖かく、薄手のコートも必要ない日が続いています。まだ学校も休み、なんとなく夏休みモードを引きずるなか、今年も新種のワインが市場に出回りはじめました。Heuriger(ホイリガー)という名の新種のワインがオフィシャルに解禁になるのは10月になってからですが、ウィーン近郊に広がるワイン農家の新種お披露目祭が毎日目白押し、そして、このニュースレターの題名でもある Sturm(シュトゥルム)・・・発酵途中の甘い白ワイン・・・がスーパーの冷蔵品のコーナーに並ぶこの時季、ワイン大好きの私にはたまらない季節です。 【伊都】

## 秋から冬の予定

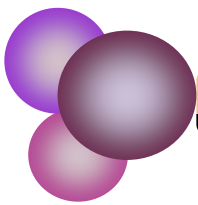
- ◆ 魂のテノール歌手  
新垣勉コンサートに  
ゲストとして出演 10月3日(土) 13:00開場 13:30開演  
杉田劇場 (JR 新杉田駅徒歩3分)  
問合せ: アンデルセン文化事業部 045-788-8782
- ◆ 横浜国立大学附属小学  
校創立100周年記念式  
典にゲストとして出演 10月17日(土) パシフィコ横浜
- ◆ ライブハウスに出演 10月23日(金) 19:30開演  
KAMOME live matters (JR 関内駅徒歩5分)  
予約: 045-662-5357
- ◆ 第7回加納伊都  
ヴァイオリンリサイタル 12月22日(火) 18:30開場 19:00開演  
横浜みなとみらいホール小ホール

夏の終わりとともにウィーンに戻った伊都さんですが、母校横浜国大附属小記念式典に招かれ10月初めに帰国の予定です。恒例の12月のリサイタルまでに再度ウィーンに行き、また12月に帰国、と慌ただしいスケジュールです。

## 若いエネルギーの競演！イギリス館コンサート

第2回 TRAUBEN 主催コンサート「Wiener Wind」が、8月16日イギリス館で催されました。昨年に続き、告知後2週間余りで予約終了となる盛況ぶり。

今回は後半チェロが加わるという新しい試み。ピアノの齊藤一也さん、チェロの宇野健太さん、ともに実力のある若い演奏家二人を助っ人に、息の合ったエネルギー溢る演奏で聴衆を魅了してくれました。前半はコレルリ作曲ラ・フォリア、ベートーベン作曲ロマンスなど。後半はラベル作曲ヴァイオリンとチェロのためのソナタ、またアンコールはCMでも有名になった「リベルタンゴ」。三人の奏でる情熱的なタンゴは会場を熱気に包みました。



op.6

## いとちゃんのクラシック講座



ヴァイオリンを演奏することを職業としている、いわゆるヴァイオリニストの多くはオーケストラの団員として働いています。クラシックを演奏する一般的なオーケストラはどんなに小さな編成でも、8人のヴァイオリニストを必要とし、多い場合は25人ほど必要なときもあります。(チャイコフスキーやマーラーのシンフォニーなど) オーケストラでは弦楽器の他に、管楽器、打楽器などの楽器が演奏されています。基本的に弦楽器は、第1、2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの4つですが、管楽器となると木管楽器(フルート、オーボエ、クラリネットなど)金管楽器(ホルン、トランペット、チューバなど)が曲によって編成が違ったり、1人しか必要なかったり、フルーティストはピッコロという楽器も吹く・・・などさまざまです。 つづく 【伊都】



## ◎ DVDクラシックコレクション ◎

第2回 「アマデウス」 これは必見! はずせない! モーツァルトを描いた大作です。

**ストーリー** 1825年ウィーン。宮廷音楽家サリエリは、若き天才ウォルフガング・アマデウス・モーツァルトの才能に嫉妬し、やがて天才を死に追いやる陰謀を企てる。1984年アカデミー賞作品賞ほか8部門で受賞。(原作は戯曲なのでフィクションです。)

**見どころ** まじめで凡庸なサリエリと、音楽以外はハチャメチャなモーツァルトが対照的でおもしろい。憎み、妬みながらもサリエリはモーツァルトの作品をとっても愛しているところが深い。また、フィガロの結婚、ドン・ジョバンニ、魔笛など、劇中のオペラも楽しめる。

**感想** 「えーっ、モーツァルトってこういう人だったの!？」確か前回のベートーベンの時もそう思ったような…。やはり天才は紙一重。子供っぽく下品でも自分が一番と思うプラス志向は憎めない。神がかり的な才能がありながら、浪費し、酒に溺れ困窮し35歳で死んでしまう。天才って幸せ? 比べようもないが、頭の中をマイケル・ジャクソンがよぎった。

## 親睦会の中止について

去る8月1日に予定していた第2回 TRAUBEN 親睦会ですが、参加申し込み期限の7月18日までに参加希望がなく、中止とさせて頂きました。その後問い合わせをいただいた2件の方には、中止の旨をご理解いただき、申し訳ありませんでした。また次の機会に、皆様のご参加をお待ちしております。

**\* 編集後記 \*** 今年のリサイタルは祝日の前日に来て頂きやすい日程です。来られる方はお帰りに是非後援会受付に寄って下さいね。ささやかなプレゼント、があるかもしれません♪ / 親睦会はちょっと残念でしたが、イギリス館は満員御礼となり、ありがとうございました。今回は伊都さんが曲の説明をする、という試みもあり、作品の背景がよくわかったと好評でした。MCは苦手…と言うわりにはなかなか滑らかなものでしたよ。 / 10月の一時帰国で予定された三か所での演奏はどれも是非にと、ご本人に依頼があったもの。記念式典以外は私達も聴くことができます。普段はJAZZが多いライブハウスでの演奏は初めてで興味津津ですね。ちなみにテーブルチャージは3,500円で、そのほかに飲食のメニューがあり、とても美味しいのだそうです。行ってみようかな? 《ゆ》

発行：加納伊都後援会

TRAUBEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台15

TEL : 045-622-6780

FAX : 045-621-6423

Email : itoviolin-kouen@memoado.jp

Homepage : http://www.ito-vn.jp/